

## RaceMate チェッカー ユーザーマニュアル

1. 電源の入れ方 .....	1
2. 操作の基本 .....	1
3. 測定方法 .....	2
4. ギヤ比、タイヤ径の設定 .....	2
5. 回転数の測定範囲設定 .....	3
6. 測定値の保存 .....	3
7. 電圧の校正 .....	3
8. 更新履歴 .....	3

### 1. 電源の入れ方

A ボタンを押すと電源が ON になり、6 秒の長押しで OFF となります。バッテリーを内蔵しており、4 時間程度動作します。(環境や劣化により変化する可能性があります)

\* バッテリーが減ると測定画面右下に「E」と表示が出ます。\* ver1.3 より割合表記に

\* バッテリー消費削減のために基本的に画面は暗い状態で、操作や測定を行う間は明るくなります。

\* 1 時間ほどの充電で満タンになります。

\* 測定やボタン操作が無い場合は 10 分で自動で電源が落ちます \* ver1.3 より実装



### 2. 操作の基本

チェッカーには測定のほかに保存やストップウォッチ機能があり、スピードチェッカーとして時速表示を行う場合はギヤ比とタイヤ径を設定する必要があります。

ディスプレイ右上には「アルファベット>」というオレンジ色の表記があり、ロゴの書かれた B ボタンを押すとその機能が選択され、A ボタンを押すと右上に表示される機能が入れ替わります。



## 各種機能の略称表示

- (1)TIM(Timer) ストップウォッチ機能
- (2)LOG(Log) 保存したデータの表示
- (3)RNG(Range) 測定する回転数の範囲を設定
- (4)GEA(Gear) ギヤ比の設定
- (5)WHL(Wheel)タイヤ径の設定

## 3. 測定方法

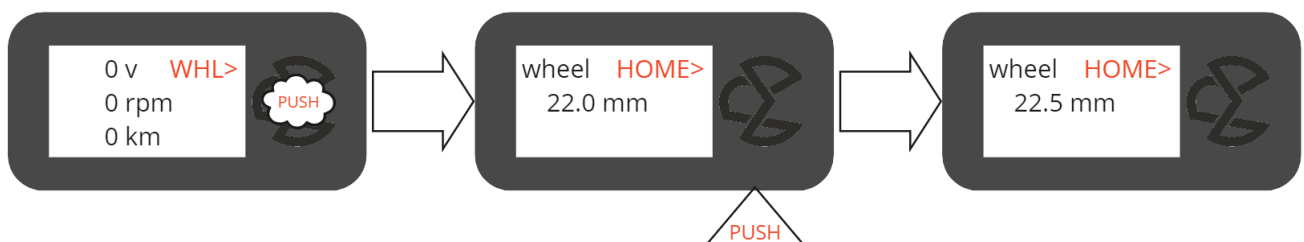
測定ピンを MS シャーシ裏からターミナルに接触させて計測します。回転数を計測する際はマシンのスイッチを ON にした状態でマシン前方側の端子を、無負荷電圧のみを計測する場合はスイッチ OFF のうえで後方の端子に当ててください。(測定ピンには極性があります。画像を参考にしてください)



## 4. ギヤ比、タイヤ径の設定

時速表示はモーター回転数と設定されたパラメータから計算で求めています。

A ボタンを押して右上の表示を Gea(Gear)または Whe(Wheel)に切り替えたうえで B ボタンにより設定画面に移ります。機能の入れ替えと同様に A ボタンを押すとパラメータが変更されます。設定画面では右上の表示は Home となっており、B ボタンを押すとパラメータが記録され、測定画面に戻ります。



## 5. 回転数の測定範囲設定

本製品は 15000~40000rpm の範囲で測定できるように作られています。もし普段の値と全く異なる測定結果が出た場合はセンサが認識する範囲を狭めることで精度を上げることができるので試してみてください。(ノーマルやレブなどの磁力の弱いモーターで測りにくいことが確認されています)

設定方法はギヤ比やホイール径の操作と同様で、以下の3通りの範囲を設定できます。

- (1) 15000~40000
- (2) 15000~28000
- (3) 25000~40000

## 6. 測定値の保存

測定中は右上の表示が SAVE に自動で切り替わり、B ボタンを押すと測定値が保存されます。

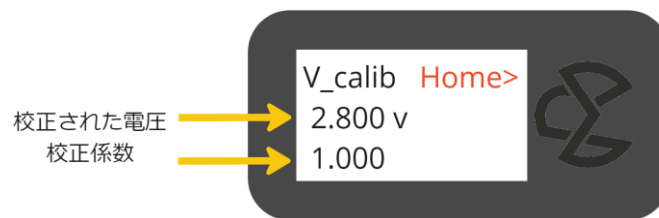
「LOG>」機能から保存したデータを確認できます。



## 7. 電圧の校正

測定ピンをターミナルに当て、電圧が加わった状態で電源を入れると電圧校正画面が開きます。

A ボタンを押すごとに校正係数に変更され、表示される電圧がそれに応じて増減するので、すでに所持している電圧計などに近い値になるようしてください。



## 8. 更新履歴

起動画面のレースメイトロゴの右下にバージョン表記あり

- 1.0：初期版
- 1.1：B ボタン部分の革のカットを変更して押しやすく
- 1.2：回転数測定精度の微向上
- 1.3：バッテリーの減少を「E」表記から割合表記に

タイマーの待機工程を削除してホーム画面からすぐに開始されるように

ディスプレイ保護フィルム追加

オートパワーオフを実装(測定かボタン操作が 10 分無い場合)